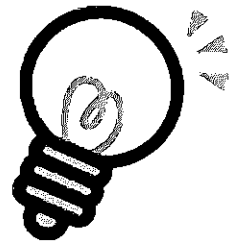


地域を変える市民活動はこう作る！



現場リーダーが明かす

# NPO実務術講座

東日本大震災をきっかけに、被災地ではNPOの活動がますます盛んになっています。一方で、活動を長期的に継続するにあたり様々な悩みに直面していませんか？

- 同じメンバーしか活動に参加せずマンネリぞみだ
- 地元の住民や団体、自治体ともっと連携したい
- 広報を頑張っているけれどうまく広まらない
- NPOで食べていけるようになりたい

この講座ではそんな悩みを解決するために、現場の第一線で活躍するNPOのリーダーを招き、普段は聞くことができない実践的なノウハウを学びます。

日時 平成25年11月25日（月） 14:00～17:00

会場 迫公民館 大会議室

宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1 ☎0220-22-7324

参加費 500円

## プログラム

第一部 講演「若者・よそ者との地域づくり」

池田 誠（一般財団法人 北海道国際交流センター 事務局長）

第二部 パネルディスカッション「地域を変える市民活動の作り方」

コーディネーター 池田 誠

パネラー 立山芳輝（CHEST）

萩のゆき（まるやま組）

松田直子（株式会社Hibana） 宮嶋啓太（NPO法人ナック）

講師紹介・お申込みは裏面へ➡

主催 NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所  
協力 NPO法人日本の森バイオマスネットワーク  
赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

## ■講師紹介

池田 誠 一般財団法人 北海道国際交流センター (HIF) 事務局長



北海道在住。

1984年小樽商科大学卒業後JTBにて11年間勤務後、95年に退職。

1年間ニュージーランドでグリーンツーリズムや、パーマカルチャー、バイオダイナミックなどを学びながらサバイバル生活。帰国後、共働学会新得農場にて有機農業、ナチュラルチーズづくりなどを担当。ハンディキャップをもった人たちとの共同生活をする。その後、七飯町大沼の山川牧場にて、牛の搾乳、ヨーグルトやチーズ加工の仕事を経て、2001年5月より現職。

2004年、大沼周辺をステージに環境教育から未来を考える「大沼マイルストーン22」を設立。海外ボランティアと共に大沼環境保全活動を毎年実施している。

立山芳輝 CHEST 代表



熊本県在住。

鹿兒島県にて、環境教育に密与するNPO法人くすの木自然館を1995年の設立から今年6月まで主宰。

現在は環境と地域づくりをサポートするCHESTを設立準備中。

森の案内からエコツアーづくり、講演、ワークショップ企画などを行う。

萩のゆき まるやま組主宰、萩野アトリエ デザイナー



石川県在住。

三愛地所ホーム株式会社勤務後、夫の萩野紀一郎と渡米し、帰国後に設計事務所・萩野アトリエ設立。

インターナショナルスクール講師などを経て船登へ移住し、自宅セルフリルドの傍ら子どもと暮らしまわりの雑貨や能登の農林水産物の商品開発、デザインを手がける。

サステナブルな生き方を考える土地に根ざした学びの場「まるやま組」を自宅で住み開きしながら実施している。

松田直子 株式会社Hibana 代表取締役



京都府在住。

森林バイオマス利用の普及啓発を中心に行うNPO新く炭くKYOTO(しんくたんくきょうと)の活動から発展し、2006年に森林資源の有効活用を提案する株式会社Hibanaを設立。

山を元気に、森林バイオマスを活用した火のある暮らしを京都から提案・発信していくことを目指している。

宮嶋啓太 NPO法人ナック/大畑山青少年野外活動センター職員



大阪府在住。

自然体験や環境教育を通して青少年の健全育成に寄与することが目的のNPO法人ナックの職員。

同団体が指定管理者として運営している八尾市立大畑山青少年野外活動センターで主催事業やプログラムの開発、地域との連携、子ども会の支援活動、環境教育指導者育成などに携わっている。

## ■お申込み

下記空欄にご記入いただきFAXいただくか、同内容を記述したメールにてお申込みください。  
当日参加も受け付け致します。

ご氏名		ご所属	
ご住所	〒		
お電話番号		メールアドレス	
備考	※活動でのお悩みや講師に質問してみたいことがございましたらご記入ください。		

NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所 担当：唐澤  
FAX：0228-25-4439 メール：office@jfbn.org